

2020年1月6日

2020年 年頭挨拶

株式会社インターネットイニシアティブ  
代表取締役社長 勝 栄二郎

新年明けましておめでとうございます。

最近では売上高・営業利益ともに前年を上回る傾向が続いており、業績は好調でございます。その原動力となっているのは、技術部門が時宜を得た良いサービスを作り、販売部門がそのサービスを首尾よく販売し、管理部門がそれらの活動をよく支えるという良い回転が始まっていることです。本年も更なる事業拡大を展望し、インターネットを中心とした事業への取り組みを続けます。

世の中の傾向として、企業はIT投資を強化しています。特に人手不足が深刻になってきている宿泊・飲食サービス、建設、小売、農業などの業種で省力化のためのIT活用に注力しています。ITを利用して効率化・省力化を図るためにはクラウドの活用が不可欠ですが、日本のIT投資に占めるクラウドの割合は世界的に見てまだまだ低く、多くの企業にとってクラウド利用の拡大・機能強化は引き続き課題と言えるでしょう。

さらに、IoTのニーズも高まっており、単なる検証から具体的な案件へと関心が移り変わりつつあります。直近では省力化の意味合いも強いですが、新たな付加価値が生み出されることへの期待があります。IoTとは、あらゆるものがインターネットに繋がり、相互に通信をする仕組みです。

この仕組みの実現に必要な技術を、IIJは創業以来の長い時間を掛けて蓄積してきました。すなわち、インターネット接続をはじめとして、フルMVNOによる無線通信、多くの機器が接続されることで生まれてくる新たな脅威への対策としてのセキュリティ、情報を集積して処理する国産クラウドなどがそうです。これら総合的なサービスをプラットフォームとして提供している当社にとって、昨今のIT投資動向は事業拡大の契機です。

今年は当社の現中期経営計画を総括し、新中期計画を立案していく年でございます。新しい計画の中でも継続的なサービス開発および売上伸長の戦略は維持し、成長を確かなものにしていくための方針を固めてまいります。より長期的には、現状の投資先行フェーズを乗り越えて営業利益率2桁以上を目指します。

IIJにとって追い風が吹いているこの環境の中で、「職場は自己実現の場である」という稀有な社是を体現し続けながら、これからも社員一丸となってネットワーク社会が持つ可能性を切り拓いてまいります。

以上